

丹波篠山国際博開催に向けて

丹波篠山市には、城下の町並みや田園風景、古民家ホテル、篠山城、八上城など、誇れる資源がたくさんあります。ほかにも、春には桜街道、カエルの大合唱、夏にはデカンショ祭、秋には幻想的な朝霧、丹波黒枝豆の収穫体験などがあり、丹波篠山市に來られた方が「ワクワク」することばかりです。

そこで、大阪・関西万博をきっかけに、丹波篠山に何度も来ていただけるような観光客の誘客や、市のブランド力の向上につなげるため、さらには、市民の皆さんにも、自分たちは世界に誇れる素晴らしい資源に恵まれた丹波篠山に住んでいるということを再認識いただき、誇りに思っていたただけるようにするため、オール市民参加で「丹波篠山国際博 日本美しい農村(仮称)」を開催します。

市民参加で盛り上げよう

大阪・関西万博のテーマは「SDGs11命」です。まさに、丹波篠山の暮らしにぴったりのテーマです。開催内容については、今後、市民の皆さんや各種団体の皆さんともにつくり上げていきますので、ご参加、ご協力をよろしくお



丹波篠山国際博 2025年4月〜10月

日本の美しい農村(仮称) 開催へ

— オール丹波篠山、市民参加で盛り上げよう —

2025年4月から10月まで、大阪の夢洲で開催される「大阪・関西万博」。市では、この万博をきっかけに、丹波篠山の良さを全国また世界各国の方々に知っていただき、持続的な観光客の誘客や市のブランド力のさらなる向上につなげるため、万博の開催に合わせ「丹波篠山国際博 日本美しい農村(仮称)」を開催します。ここでは、その取り組みについてお知らせします。

問い合わせ 観光交流部 丹波篠山国際博担当 ☎558-8891

願います。

国際博の開催に向けて、何も新しいことをする必要はありません。これまで取り組んでいるイベントやお祭り、集落の営み、四季の自然の姿など、どんなことがアピールできるか、考えていただければと思います。市内津々浦々のすばらしい資源やイベント、取り組み、伝統芸能などを集約し、その見せ方や、誘客につなげる方向などを市民の皆さんと一緒に考えていきます。その一つ一つのプログラムをつなげることで、国際博の期間中には、いつでもどこかで、何かを体験できるという内容に仕上げていきます。

8月27日設立総会開催へ

6月4日には、四季の森生涯学習センターで、市民の皆さんや各種団体の皆さんを対象にした国際博の概要説明会を開催し、200人以上の方が参加。説明会では、ひょうごフィールドパビリオンに認定されたプログラムの事例発表も行っていただきました。

今後は、それぞれの地域や団体などで取り組み内容を検討いただくとともに、8月27日に国際博の設立総会を開催し、具体的な開催計画などをまとめていきます。

丹波篠山国際博にご参加・ご協力ください

- 地域で行われているイベントや行事、取り組みがあれば教えてください
 - 地域のお祭りに「丹波篠山国際博開催記念」という冠をつけて、観光客を温かく迎え入れていただくような取り組みでも結構です
 - 地域に取り組むべきイベントや行事がなくても、国際博に興味や関心があればどなたでもご参加ください
- ご参加、ご協力いただける場合は、観光交流部 丹波篠山国際博担当(☎558-8891)まで連絡をお願いします。

丹波篠山国際博までのスケジュールについて

令和5年	
6/4	「丹波篠山国際博 日本美しい農村(仮称)」概要説明会
8/27	「丹波篠山国際博推進市民委員会(仮称)」設立総会
↓	
「丹波篠山国際博実行委員会(仮称)」各部会の設置	
令和6年	
3月	「丹波篠山国際博」開催概要の決定
4月～	「丹波篠山国際博」プレ期間
令和7年	
4月～	「丹波篠山国際博」開催

ひょうごフィールドパビリオン

地域の活動現場そのものを、地域の皆さんが主体となって発信し、多くの人に来て見て学び、体験いただく取り組みです。兵庫県では130のプログラムが認定(5月現在)され、市内では下記の3団体を含む10団体が認定されています。

丹波立杭陶磁器協同組合 理事長 市野達也さん

「日本六古窯」丹波焼の里を訪ねる

「最古の登窯」の見学、丹波焼と食の体験などを中心に、日本遺産である丹波焼の里を巡り、素朴で温もりのある手仕事の魅力や伝統技術の豊かさを感じてもらおうプログラム



一般社団法人ウイズささやま 丹波篠山デカンショ踊り

「丹波篠山デカンショ館」(青山歴史村内)で、国際博の期間中に、いつでも丹波篠山の歴史と文化を歌詞にのせて踊る「デカンショ踊り」を体験してもらおうプログラム



ミチのムコウ リーダー 吉良佳晃さん

Be Satoyama EXPO2025

米づくりから、草刈り、生き物観察、米の収穫までの一連の作業を体験しながら、2025年には、「100か国ではぐくむ名前はまだ無い日本酒」づくりにチャレンジするプログラム



プレミア・プログラム認定

丹波立杭陶磁器協同組合理事長 市野達也さん

大阪・関西万博の力をお借りして、丹波焼をPRしたいとの思いで、「ひょうごフィールドパビリオン」に手を挙げました。特別に何かをするのではなく、普段していることを見ていただきたいと思っています。これまで行ってきた「丹波焼陶器まつり」や「丹波焼の里 春ものがたり」もそうですが、京阪神からのお客さんに限られていたのが、世界から来ていただき、世界に丹波焼を発信することができます。丹波篠山の丹波焼を知っていただき、また来てみたいとなればうれしいです。

※プレミア・プログラム(130のプログラムから5件が認定)「各地域の風土・文化との親和性」「持続可能性」の観点から地域の核となるプログラム。